



気付き、考え、高め合う「かがみっ子」～行動～

鏡小学校だより

HP <https://es.higo.ed.jp/kagami/>

第18号

R7.10.10

文責 桑原 理子



6年生修学旅行

10月1日～2日に、6年生の修学旅行を実施しました。旅行地は長崎県と佐賀県でした。

長崎市では、追悼記念館で平和集会を行い、心をこめて折った千羽鶴をささげ、それぞれが平和な社会のつくり手となることを誓いました。原爆資料館を見学し、ながさき平和・歴史ガイドのみなさんとフィールドワークを行う中で、原爆の恐ろしさを改めて知りました。語り部講話でお話しいただいたのは、田中安次郎さん(83歳)です。田中さんは3歳の時に被爆され、がれきの中から奇跡的に救出されたそうです。原爆の記憶、そして被爆したことによって受けた差別について、話してくださいました。「平和のバトンを渡します。これからは皆さんのがピースメッセンジャーとなり、平和な世界を築いてください。」という田中さんの言葉が心に響きました。長崎市で学んだことを自分の生活に生かし、自他の命を大切にし、自分も周りの人たちも大切にできるよう、学び、実践していきます。

佐賀県では、佐賀県立宇宙科学館と吉野ヶ里歴史公園を見学しました。宇宙の神秘に触れ、歴史のロマンを感じた貴重な体験をすることができました。

とにかく暑い2日間、かなりの距離を歩きました。子供たちは本当によくがんばりました。自分の目で見て、耳で聞いて、心で感じた2日間、たくさんのことを見学した修学旅行となりました。ご家族の皆様におかれましては、子供たちの参加にあたり、ご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。



スクールサポーターさんにお世話になっています～5年生家庭科～

今年度も、地域のスクールサポーターさんが、5年生の家庭科(ミシンを使用する学習)に参加してくださっています。ご多用の中、大変お世話になります!最近は、ご家庭にミシンがあるところも減ってきており、ミシンを扱うのははじめて、という子供がほとんどです。けがをしないように、先生の説明をしっかりと聞いて、慎重に扱っていました。上糸と下糸のバランスをとるのが難しいですが、とても上手に縫うことができていました!地域の方のお力添えをいただけることは、子供たちにとって、学習面においても、心の面においても、たくさんの学びにつながります。スクールサポーターの皆様、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

